

自然環境整備計画(国立公園整備事業)
【平成28年度～平成32年度】

ぎふけん
岐阜県

平成27年12月

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

| | | | |
|-------|-----|------|----------|
| 都道府県名 | 岐阜県 | 個別地域 | 中部山岳国立公園 |
|-------|-----|------|----------|

| | |
|------|---------------------|
| 計画期間 | 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度 |
|------|---------------------|

| |
|---|
| <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大目標:中部山岳国立公園の利用者の利便性や快適性、安全性の向上による自然とのふれあいの推進 ・目標1:老朽化施設の計画的な再整備により、利便性、快適性の改善を図る。 ・目標2:破損施設の再整備により、安全な利用を推進する。 ・目標3:外国語併記の看板整備により施設の国際化を推進する。 |
|---|

| |
|---|
| <p>目標設定の根拠</p> <p>個別地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部山岳国立公園内の県有施設において、階段等の破損や、表示板の腐朽などにより登山者の安全性に不安のある状態となっている。 ・乗鞍等の外国人観光客の増加により、外国語併記の案内板の設置が必要となっている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による腐朽、破損個所が多数あり、利用者の安全性、利便性向上のための整備が急務となっている。 |
|---|

| | |
|---|--|
| <p>個別地域の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1(利便性・快適性の改善) 老朽化している既存施設(標識等)を撤去し、新たな施設を整備する。 整備にあたっては、県産材(間伐材を含む)を可能な限り使用し、自然公園にふさわしい形状にする。 歩道については、利用者の利便性や快適性を考慮し、高齢者等にも歩きやすい構造にする。 増加する外国人観光客の安全性、利便性向上のため、外国語併記の看板を整備する。 ・整備方針2(施設の安全性の向上) 老朽化に伴う破損により、利用上支障が生じている橋梁や階段工の施設について、取り替えを行う。 破損により利用に支障が出ている駐車場、路面等の復旧や転落防止柵工を施工する。 | <p>方針に沿った主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍鶴ヶ池園地 ・新穂高温泉園地 ・平湯博物展示施設 ・平湯園地 ・乗鞍鶴ヶ池駐車場 ・平湯歩道 ・平湯駐車場 ・平湯園地 ・平湯峠園地 ・平湯公共駐車場 ・新穂高温泉駐車場 |
|---|--|

| 指 標 | | 定 義 | 調査等の方法 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | |
|----------------------------|------|-----------------------------|--------|---|-----|-------|-------------|
| 単 位 | 基準年度 | | | | | 目標年度 | |
| 破損・老朽化施設の改修による 事故・遭難数の減 | 人 | 老朽化施設を整備したことによって減った事故・遭難者の数 | 聞き取り | 長距離自然歩道における事故・遭難者数から利用者の安全性、利用の快適性を表す指標とする。 | 3 | 平成27年 | 0 平成32年度 |
| | | | | | | | |

| |
|-----------------|
| <p>その他必要な事項</p> |
|-----------------|

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

| | | | |
|-------|-----|------|--------|
| 都道府県名 | 岐阜県 | 個別地域 | 白山国立公園 |
|-------|-----|------|--------|

| | |
|------|---------------------|
| 計画期間 | 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度 |
|------|---------------------|

| |
|---|
| <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大目標:白山国立公園の利用者の利便性や快適性、安全性の向上による自然とのふれあいの推進 ・目標1:老朽化施設の計画的な再整備により、利便性、快適性の改善を図る。 ・目標2:破損施設の再整備により、安全な利用を推進する。 ・目標3:外国語併記の看板整備により施設の国際化を推進する。 |
|---|

| |
|--|
| <p>目標設定の根拠</p> <p>個別地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山国立公園内の県有施設において、階段等の破損や、表示板の腐朽などにより登山者の安全性に不安のある状態となっている。 ・白山の外国人観光客の増加により、外国語併記の案内板の設置が必要となっている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による腐朽、破損個所が多数あり、利用者の安全性、利便性向上のための整備が急務となっている。 |
|--|

| | |
|---|--|
| <p>個別地域の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1(利便性・快適性の改善) 老朽化している既存施設(標識等)を撤去し、新たな施設を整備する。 老朽化し、利用者に危険のある避難小屋等を整備する。 整備にあたっては、県産材(間伐材を含む)を可能な限り使用し、自然公園にふさわしい形状にする。 歩道については、利用者の利便性や快適性を考慮し、高齢者等にも歩きやすい構造にする。 ・整備方針2(施設の安全性の向上) 老朽化に伴う破損により、利用上支障が生じている橋梁や階段工の施設について、取り替えを行う。 | <p>方針に沿った主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山南山稜線登山道 ・白山北山稜線登山道 ・白山北山稜線登山道 |
|---|--|

| 指 標 | | 定 義 | 調査等の方法 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | |
|----------------------------|-----|-----------------------------|--------|---|-----|-------|-------------|
| | 単 位 | | | | | 基準年度 | 目標年度 |
| 破損・老朽化施設の改修による 事故・遭難数の減 | 人 | 老朽化施設を整備したことによって減った事故・遭難者の数 | 聞き取り | 長距離自然歩道における事故・遭難者数から利用者の安全性、利用の快適性を表す指標とする。 | 3 | 平成27年 | 0 平成32年度 |
| | | | | | | | |

| |
|-----------------|
| <p>その他必要な事項</p> |
|-----------------|

(参考) 自然環境整備計画(国立公園整備事業)(岐阜県)の概要図

| | | | |
|------|----------|-----|----------------------|
| 個別地域 | 中部山岳国立公園 | 所在地 | オウケン カカヤマシ 岐阜県高山市 |
|------|----------|-----|----------------------|

個別地域の図面を添付すること。



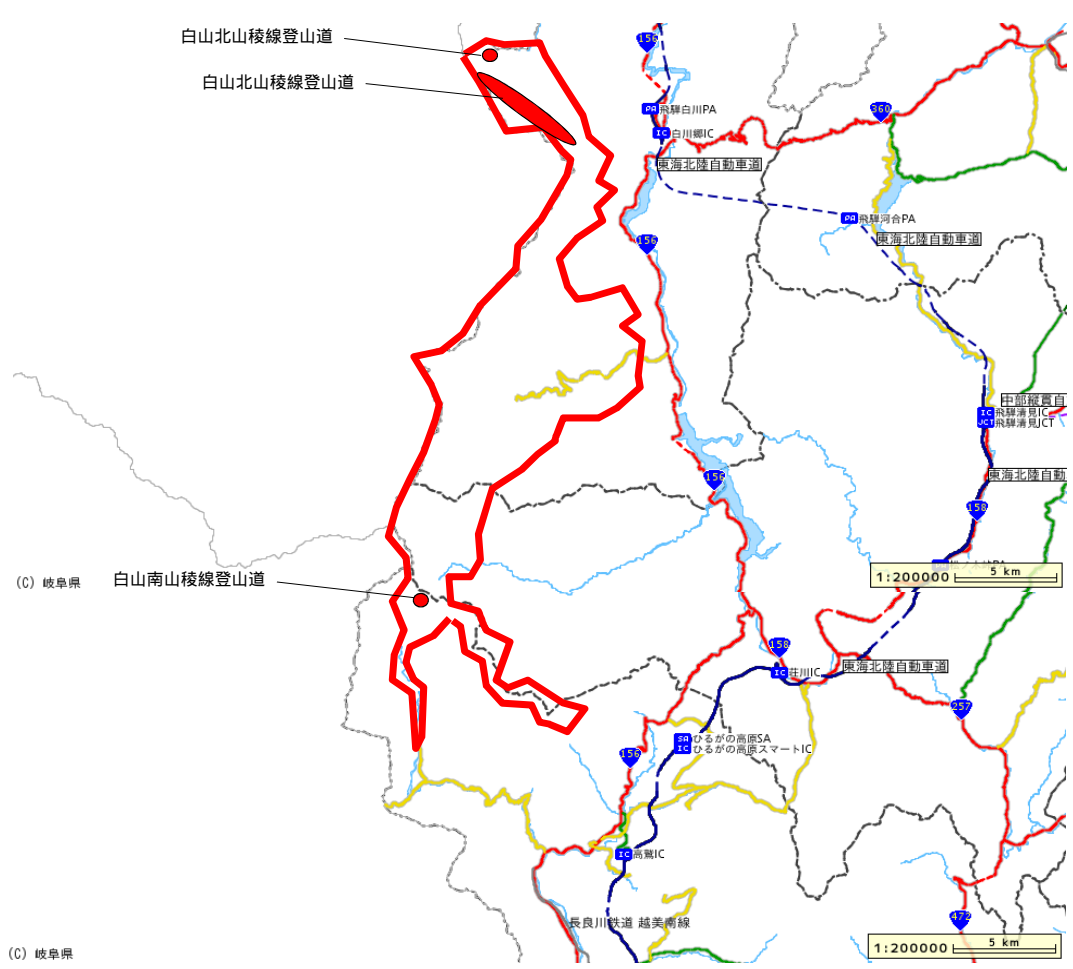
| 凡例 | |
|-------------------|---|
| 自然環境整備事業交付金(国立公園) | ● |

1:250000 5 km

(参考) 自然環境整備計画(国立公園整備事業)(都道府県)の概要図

| | | | |
|------|--------|-----|-----------------|
| 個別地域 | 白山国立公園 | 所在地 | 岐阜県 大野郡 白川村・都上市 |
|------|--------|-----|-----------------|

個別地域の図面を添付すること。



| 凡例 | |
|-------------------|---|
| 自然環境整備事業交付金(国立公園) | ● |